

## シリーズ11

「男女共同参画社会実現にむけて」  
意識はみなトップランナー?!

ーぴゅあ富士フェスティバルに参加してー  
都留市女性プラン推進委員会

昨年の十一月二十七日～二十九日と富士女性センターで開催された、ぴゅあ富士フェスティバルに都留市女性プラン推進委員会では展示とアンケートで参加しました。

展示では、今、新聞やテレビなどで目や耳にする『ジェンダー』『セクハラ(セクシャルハラスメント)』『エンパワメント』などの用語解説と女性プランの基本目標およびジェンダーかるたを展示しました。

フェスティバル参加者に対し行ったアンケート「ジェンダーチェック」については、皆さんのジェンダーに対する意識はどうなんだろうか、ということから年代と性別だけ記入していただく方式で協力をお願いしたところ、一、二名の方から回答をいただきました。

集計の結果、男だから女だからということにこだわらず、お互いに認め合い支え合っているというジェンダーフリーの意識の高い人が約半数いるということがわかりました。年代別ではやはり二十代、三十代と年代が若くなるにつれジェンダーフリーの意識は高いのですが、六十歳以上も意識の高い人が多く、女性センターの利用者は男女共同参画社会づくりのトップランナーであると感じました。しかし、その反面働く女性が多くなったこともあり、休日は、女性にとってもかえって忙しいという回答が全体の九割を占めていました。意識の上ではトップランナーであっても、現実にはまだそこまでいっていないという事実も見られました。

今、新しい時代を拓く心を育てるジェンダーフリーの教育は、家庭・地域社会・学校が一体となり次代を担う子どもたちのために、大人が現実の社会をしっかりと見据え日々研鑽する中で真摯に取り組んでいかなければならない大きな課題の一つだとジェンダーチェックを通して痛切に感じました。

## あなたもジェンダーチェックをしてみませんか!

これはフェスティバルで使用したものと同じです。さあ、あなたはトップランナー?

1. 家族の休む休日は女性(妻)はかえって忙しい
2. 資産はすべて夫の名義である
3. 夫よりも遅く妻が帰宅するのは不愉快だ(気がひける)
4. 「男だから泣くな」「女だから優しく」など“らしさ”に基づく指導をした(しつけをしている)
5. 親が倒れたら、女性(娘や息子の嫁)が退職して看病すべきだ
6. 近所のお宅の夫が、スーパーで買い物をしていたり洗濯物を干しているのを見かけたとき、その夫がかわいそうだと感じる
7. 職場や会合でお茶を入れるのは女性の方が自然だと思う
8. 進学や就職などについては、女子の方が男子に比べて気が楽だ
9. 男の子がままごとや人形遊びをすると心配になる
10. 男性が家事育児をするのは情けないと思う
11. やっぱ男は仕事、女は家庭だと思う
12. 上司が女性だと不安だ

### ◆あなたのジェンダー度は

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 「はい」が7個以上・・・あなたは冬眠中 | *早く冬眠から目覚めてください。  |
| 6～4個・・・よちよち歩き       | *もう一息。足取りをしっかりとね。 |
| 3個以下・・・トップランナー      | *おめでとう!!          |

### 【用語について】

ジェンダー：「生物学的」な男女の違いをセックス(SEX)というのに対して、社会的・文化的につくり上げられた「性差」をジェンダー(GENDER)という。

ジェンダーフリー：男だから・女だからという性差にとらわれないこと。

エンパワメント(女性のエンパワメント)：力をつけること(個々の女性が自らの意識と能力を高め、政治的・経済的・社会的および文化的に力をもった存在となることを目指す)

セクシャル・ハラスメント：相手の意に反した性的な性質の言動で、身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布、衆目に触れる場所へのわいせつな写真の提示など、様々な態様のものが含まれる。